



大和証券グループ

平成 23 年 1 月 24 日

各 位

株 式 会 社 福 井 銀 行
世 界 銀 行
株式会社 大和証券グループ本社

福井銀行が「グリーンボンド」を購入 ～債券投資を通じて地球温暖化対策に貢献する～

このたび、株式会社福井銀行（本社：福井県福井市、頭取：伊東忠昭、以下「福井銀行」）は、世界銀行（国際復興開発銀行）が新規に発行する「グリーンボンド」を購入し、1月21日に払込が完了しましたので、その概要についてお知らせいたします。

グリーンボンドとは、世界銀行が資金拠出を行っている事業のうち、地球温暖化の要因を取り除くこと、あるいは地球温暖化により引き起こされる諸問題に対処することを目的に開発途上国で実施される事業を支援するために発行される債券です。グリーンボンドで調達した資金は、世界銀行の環境専門家が一定の基準に基づいて選定した地球温暖化対策事業、具体的には、代替エネルギーの導入、温室効果ガスの排出を軽減する新技術の開発支援、森林再生、河川流域管理、洪水対策などの事業を支援するために活用されます。世界銀行は、これまで18億米ドル相当のグリーンボンドをユーロ市場において発行してきました。

今回のグリーンボンドについては、発行総額 1,000 万米ドル全額を福井銀行が購入しております。引受けディーラーには、大和証券グループのホールセール証券会社である大和証券キャピタル・マーケッツ株式会社が指名され、発行のアレンジを担当しました。

福井銀行では、地域産業の育成や金融教育、福祉支援など幅広いCSR活動を展開しています。環境対策活動にも積極的であり、例えば、地球温暖化ストップ県民運動「LOVE・アース・ふくい」への参加、ペーパーリサイクルの実施、移動回数の削減を目的としたTV会議システムの導入など多方面から環境問題に取り組んできました。

福井銀行 執行役経営企画グループマネージャーの朝倉真博氏は次のように述べています。

「福井銀行がこれまで行ってきたCSR活動の中でも、『環境対策活動』には特に力を注いでおります。足元の円高傾向により、お客さまよりお預りする外貨預金が順調に推移している背景を踏まえ、この資金を何らかの形でCSR活動に結び付けたいと検討を重ねてきた結果、このたびグリーンボンドの購入を決定いたしました。グリーンボンドは債券投資を通じ、お客さまと環境対策活動を結び付けるという点で非常に有意義であると考えております。」



大和証券グループ

世界銀行 財務局駐日代表の有馬良行氏は次のように述べています。

「北陸地方と世界銀行とはゆかりがあり、1958年、日本の経済発展に伴う産業エネルギーの不足を補うために、世界銀行の第二次電力向けプロジェクトの一環として、北陸電力様の有峰ダム水力発電への貸出を行った経緯があります。現在でも水力発電は温暖化ガス削減に有効な手法の一つであり、グリーンボンドによる資金調達分野の一つでもあります。戦後50余年の時を経て、今度は世界銀行が北陸地方の皆様の資金を地球温暖化問題の解決に活用させて頂けることは、60年以上も発展途上国の支援を続けてきた世界銀行にとって意義深いことと考えております。福井銀行様並びに北陸地方の預金者の皆様に改めてお礼を申し上げたいと思います。」

また、大和証券株式会社 常務取締役の中村比呂志氏は次のように述べています。

「世界がさまざまな課題を抱える中で、企業に対しても、社会全体の利益を考えて行動することが求められています。企業を取り巻くステークホルダーへの責務を果たしつつ、環境問題などへも配慮することが必要とされているのです。その解決策のひとつといえるのが『インパクト・インベストメント』であり、投資を通じて社会に貢献することではないでしょうか。

C S R活動に積極的であり環境問題に対する意識の高い福井銀行様の、このたびのグリーンボンド投資のお手伝いできたことを嬉しく思います。

大和証券グループでは今後も、社会への利益還元を目指す皆さまを、金融の仕組みを通じてサポートしていきたいと思っております。」

発行概要

発行体	世界銀行（国際復興開発銀行：IBRD）
起債通貨	米ドル
発行総額	1,000 万米ドル
受渡日	2011年1月21日
償還日	2016年1月21日
各債券の金額	100 万米ドル
主幹事	大和証券キャピタル・マーケット



大和証券グループ

■ 福井銀行について

福井銀行は、1899年に設立され、昨年110周年を迎えた歴史ある銀行です。福井県内におけるシェアは預金・貸出金ともに約4割を占め、県内のリーディングバンクとして、磐石な経営基盤を築いています。

「トライアングルバランスの堅持」を経営理念とし、金融サービスの提供を通じ「お客さま（地域）のご満足」、「株主の方々（投資家のみなさま）のご満足」、「銀行（グループ）の満足」をバランス良く高める経営につとめています。

■ 世界銀行（IBRD）について

1945年に設立された世界銀行（International Bank for Reconstruction and Development）は、世銀グループのうち最も歴史が長く、また単一機関としては最大の開発資金の融資機関となっています。IBRDは中所得国および信用力のある貧困国に融資、保証、および分析・助言サービスなどの非融資業務を提供し、持続可能な開発を推進することで、これらの国の貧困を削減することを目指しています。過去の融資から得られた利益は、開発活動の原資になるだけでなく、IBRDの財務の健全性を示す指標となり、IBRDが資本市場から低利で資金調達し、借入国に緩やかな条件で融資を提供することを可能にしています。

IBRD融資の原資は、資本市場からの借入、加盟国からの出資金、留保利益、IBRD貸付金の回収で賄われ、そのうち市場での借入が最大の資金源となっています。また、各加盟国は出資金のごく一部を実際に払い込み、残額は世銀から請求された場合にのみ支払います。払い込み請求はIBRDが投資家に対する債務を履行することができない場合に限られ、今日まで請求されたことはありません。IBRDの理事会は186の加盟国を代表する24名の理事で構成されています。このうち5名は任命理事、19名は選任理事です。日本は、1952年にIBRDに加盟しました。

■ 大和証券グループについて

大和証券グループは、1902年創業の日本を代表する独立系総合証券グループです。グローバルなネットワークにより、世界中の顧客に対し資産形成や企業活動の支援といった金融サービスを提供し、社会及び経済の発展に貢献しています。主要な事業は、エクイティ、債券、デリバティブおよびその他金融商品の開発・提供、エクイティ・債券等の引受業務、M&Aをはじめとするアドバイザー業務に加え、アセットマネジメント業務やプリンシパル投資です。

大和証券グループの営業拠点は、日本をはじめ、米国、欧州、およびアジア・オセアニア地域に広がっています。世界中に約16,000人の従業員を抱え、顧客からの預り資産残高は約42兆円、グループのアセットマネジメント会社2社の運用資産残高は合計で約13兆円です。リテール事業を行う大和証券では120の店舗網、約338万の顧客口座数を有し、ホールセール事業を行う大和証券キャピタル・マーケットでは21の国と地域に30の拠点を有しています。（数字は全て2010年9月末現在）

以上